

「医学系研究に関する情報公開文書」

研究機関名：四国がんセンター

	089-999-1111 研究責任者：四国がんセンター 婦人科 竹原 和宏
--	--

研究課題名	EMAST 原発性上皮性卵巣癌における MSH3 および p53 異常の検討
研究の対象	当院および共同研究施設で原発性上皮性卵巣癌と診断された症例のうち elevated microsatellite alterations at selected tetranucleotide repeat (EMAST)が確認された 25 例（当院：15 例）
研究の目的・方法	MSH3 遺伝子領域の CNV の検討および MSH3、p53 の DNA シーケンシングを用いて解析する。 研究期間：研究実施許可日 ～ 2023年5月31日まで
調査データ該当期間	西暦 2016 年 6 月 15 日 ～ 西暦 2019 年 1 月 9 日
研究に用いる試料・情報の種類	試料：病理組織切片 情報：病理組織型（施設診断）、年齢、FIGO 進行期、化学療法の有無、投与薬剤、無病生存期間（初回手術日から再発確認日あるいは最終受診日までの月数）および予後 MSH3 遺伝子コピー数、MSH3 及び p53 遺伝子変異情報
外部への試料・情報の提供	試料（手術時摘出標本）の提供は、解析機関である東邦大学に個人が特定されない状態で行われます。 試料の提供を行う機関： 四国がんセンター 病院長 山下 素弘
研究組織	研究代表者 東北医科薬科大学産婦人科 教授 渡部 洋 分担研究者 国立病院機構 九州がんセンター婦人科 部長 斎藤 俊章 国立病院機構 四国がんセンター婦人科 部長 竹原 和宏 東邦大学医学部免疫学 助教 有田 通恒
お問い合わせ先	本研究に関するご質問等がありましたら、下記の連絡先までお問い合わせください。ご希望があれば 他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することができますのでお申し出ください。 また、試料・情報が当該研究に用いられることについて、研究対象者もしくは研究対象者の代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象といたしませんので、下記の連絡先までお申し出ください。その場合でも、研究対象者に不利益が生じることはありません。 【照会先及び研究への利用を拒否する場合の連絡先】 愛媛県松山市南梅本町甲 160